

肝胆膵外科、腎泌尿器外科、消化器肝臓内科、耳鼻咽喉科・頭頸部外科、産婦人科に通院
中の患者さんへ（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、診療後の残余検体と診療情報等を使って行います。このような研究は、文部科学省・厚生労働省・経済産業省の「人を対象とした生命科学・医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。なお、この臨床研究は倫理審査委員会の審査を受け、研究方法の科学性、倫理性や患者さんの人権が守られていることが確認され、研究機関の長の許可を受けています。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

《研究課題名》 バイオバンク保存の患者由来オルガノイドによる病態モデル構築

《研究機関名・研究責任者》 関西医科大学医学部・病理学講座 講師 松浦 徹

《研究の目的》 EphA2・インテグリン・WNT を標的とした癌治療効果の調査、オルガノイドを用いた癌病態モデル、子宮への胚着床モデル、味覚再建・肝障害低減法、癌免疫治療法、光免疫治療法、難治性敗血症や虚血再灌流障害に対する新規核酸医薬の開発をするため。

《研究期間》 2022年6月1日～2027年3月末日

《研究の方法》

●対象となる患者さん

原発性肝癌、大腸癌肝転移、胆管癌、膵臓癌、大腸癌、腎癌、腎盂・膀胱癌、尿路上皮癌、前立腺癌、頭頸部癌（唾液腺、口腔、舌）、副腎腫瘍（良性腫瘍含む）、子宮筋腫・子宮内膜症などの患者さんで、2021年4月1日から2026年12月末日の間に治療（検査）を受けた方。

●研究に用いる試料・情報の種類

情報：診断名、年齢、性別、身体所見、検査結果（血液検査、癌進行度）。

試料：手術で摘出した組織、組織から確立した培養細胞、検査で余った組織。

《この研究に関する情報の提供について》

この研究に関して、研究計画書や研究に関する資料をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

《この研究での検体・診療情報等の取扱い》

お預かりした検体や診療情報等は既に特定の個人を識別できない状態に管理されており、患者さんの氏名や住所などが特定できないように安全管理措置を講じたうえで取扱っています。

《本研究の資金源・利益相反について》

この研究は外部の企業等からの資金の提供は受けておらず、研究者が企業等から独立して計画して実施しているものです。したがって、研究結果および解析等に影響を及ぼすことは無く、患者さんの不利益につながることはありません。また、この研究の研究責任者および研究者は「関西医科大学利益相反マネジメントに関する規程」に従って、利益相反マネジメント委員会に必要事項を申請し、その審査と承認を得ています。

*上記の研究に利用することをご了解いただけない場合は以下にご連絡ください。

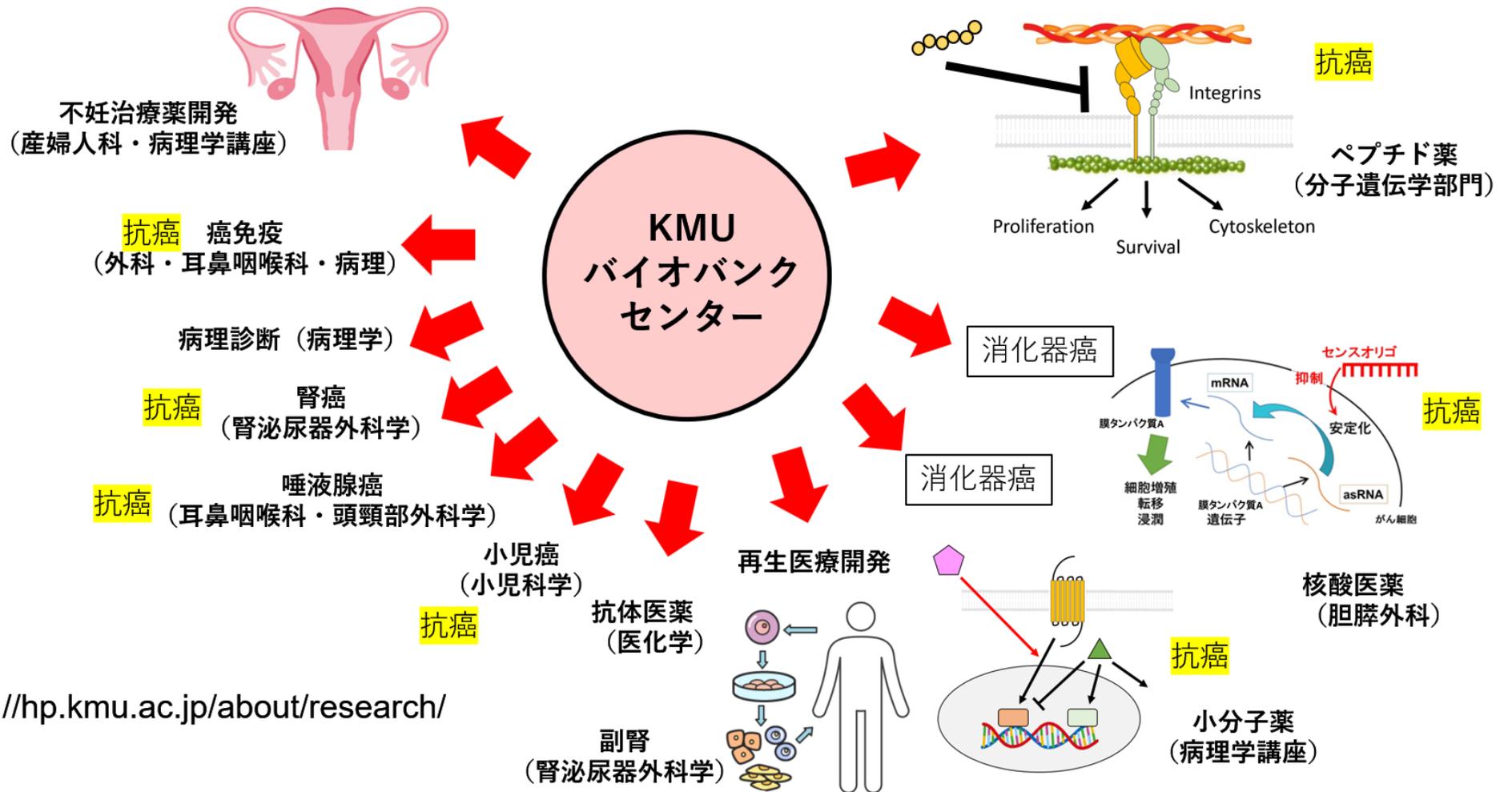
《問い合わせ先》

関西医科大学医学部 病理学講座 講師 松浦 徹

大阪府枚方市新町2-5-1

電話 072-804-1010（代表）

KMUバイオバンクを介した患者由来オルガノイドを用いた研究



<https://hp.kmu.ac.jp/about/research/>